



## 水中マスクの SG 基準(公開用)

## 水中用品専門部会委員名簿

	氏 名	所 属
(部会長)	中山 英明	海洋科学技術センター
	新井 立悦	新井ゴム株式会社
	飯塚 徳太郎	ホープ株式会社
	上島 章夫	日本アクアラング株式会
	斉藤 成夫	通商産業省産業政策局消費経済課
	須賀 次郎	日本潜水会
	杉浦 初太郎	全日本水中用品工業会
	杉田 泰造	鬼怒川パシフィック株式会社
	高野 良孝	財団法人化学品検査協会
	田畑 一夫	株式会社タバタ
	野崎 紀	通商産業省貿易局検査デザイン課
	橋本 鈴	消費科学連合会
	早川 芳太郎	文部省体育局体育館室
	逸見 市子	主婦連合会
	松岡 寿人	財団法人日本文化用品安全試験所
	森 孝	通商産業省生活産業局文化用品課
	横山 哲朗	慶応義塾大学
	若山 安雄	工業品検査所商品テスト部安全監督課
	渡辺 厚	財団法人日本消費者協会
	下河辺 孝	製品安全協会
(事務局)	製品安全協会	

## 水中マスクの認定基準及び基準

### 1. 基準の目的

この基準は、水中で用いる水中マスクの安全性及び使用者が誤った使用をしないための必要事項を定め、一般消費者の生命又は身体に対する被害の発生の防止を図ることを目的とする。

### 2. 適用範囲

この基準は、一般消費者がスポーツ、レジャー等に使用する水中マスク及び潜水用ゴーグル（以下、マスクという。）について適用する。

### 3. 安全性品質

マスクの安全性品質は、次のとおりとする。

項目	認定基準	基準確認方法
1.構造及び外観	<p>1. マスクの構造及び外観は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 各部の仕上げは良好で、傷害を与えるような角部、ばり等がないこと。</p> <p>(2) 外部に現れるねじ等の先端は、著しく突出していないこと。</p> <p>(3) 透視部は、ゆがみ、あわ、異物の混入、ひび、すじ、波上等の欠点がないこと。</p> <p>(4) 透視部に合成樹脂を使用しているものは、ガラスと同程度の透明度を有していること。</p>	
2.耐衝撃性	<p>2. マスクの耐衝撃性は、次のとおりとする。</p> <p>(1) マスクは、鋼球落下衝撃により、透視部の外れ、破砕、き裂等の異状がないこと。</p> <p>(2) 透視部がガラス製ものは、透視部が破砕たとき、破砕面が放射状及び同心円状の多数の細片及びき裂からなっていること。</p>	

3.水密性	3. マスク本体と透視部との間の水密性は、十分であること。	
4. 耐久性	<p>4. マスクの耐久性は、次のとおりとする。</p> <p>(1) バンド部に〇キログラムの荷重を加えたとき、尾錠の変形、バンドのずれ、切れ等の異状がないこと。</p> <p>(2) バンド部を〇キログラムの荷重で繰り返し引っ張ったとき、尾錠の変形、バンドのずれ、切れ等の異状がないこと。</p>	
5. 材料	<p>5. マスクの材料は、次のとおりとする。</p> <p>(1) ゴム材料は、オゾン劣化試験を〇時間行ったとき、き裂の大きさ及び深さが日本工業規格 K6301(昭和 50 年)加硫ゴム物理試験方法表 8 に規定する〇以下であること。</p> <p>(2) 耐しよく性材料の以外の金属材料は、日本工業規格 H8617(昭和 49 年)ニッケル及びニッケルクロムめっきに規定するめっきが施されていること。</p> <p>(3) マスクのゴム及びプラスチック材料は、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づく昭和 49 年厚生省令第 34 号別表第 1(第 1 条関係)ホルムアルデヒドの項のたび、かつら、つけまつげ又はくつしたどめに使用される接着剤の規定に適合していること。</p>	
6. 付属	と。	

品	6. マスクには、鼻つまみ及び排水弁以外のものがないこと。また、その機能は確実であること。	
---	---	--

#### 4.表示及び取扱い説明書

マスクの表示及び取扱い説明書は、次のとおりとする。

項目	認定基準	基準確認方法
1.表示	<p>1. 製品には、容易に消えない方法で次の事項を表示すること。</p> <p>なお、(3)は、下げ札又は包装に表示してもよい。</p> <p>(1) 申請者(製造業者、輸入業者)の名称又はその略号</p> <p>(2) 製造年若しくは輸入年又はその略号</p> <p>(3) 選択上の注意</p> <p>一般消費者がマスクを選択する場合の注意として、使用者がハンドをかけずに顔にあて、マスク内の空気を軽く吸ったとき良く吸いつくものを選択するとの主旨のことを表示すること。</p> <p>2. 製品には、次に示す主旨の取扱い上の注意事項を明示した取扱説明書を添付すること。</p> <p>なお、一般消費者が容易に理解できるよう図で明示するのが望ましい。</p> <p>(1) 使用方法</p> <p>マスクの装着方法、マスククリアの方法、潜水時のスクイーズの除去方法及び耳抜きの方法について記載すること。</p> <p>(2) 陸上で使用しないこと。</p> <p>(a) マスク透視部の曇りの防止方法及び使用中に曇ったと</p>	

	<p>きの曇りの除去方法。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(b) 陸上で使用しないこと。</li><li>(c) 使用後は、真水でよく洗った後、陰干してから、冷暗所に保管すること。</li><li>(d) 身体の調子が悪いときは、使用しないこと。</li></ul> <p>(3) 潜水時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(a) 能力の限界を超えた潜水を行わないこと。また、初心者の方は熟練した人の下で行うこと。</li><li>(b) 必ず相互救助できる相手と行動し、単独行動は避けること。</li></ul>	
--	--	--

)